



進路だより

茨城県立大子特別支援学校

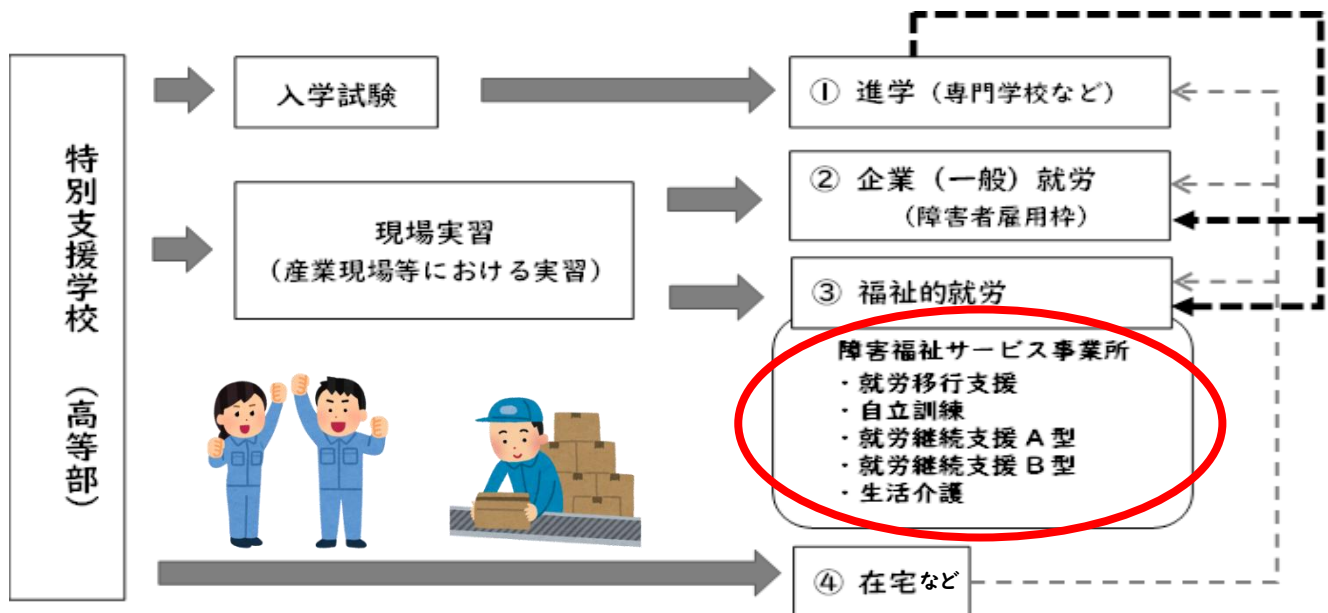
働きがい推進部

令和5年度 No. 3

師走を迎え、朝夕の冷え込みが一段と厳しくなりました。多くの行事の中で、子どもたち一人ひとりの活躍が見られた2学期も本日、最終日を迎えます。ぜひ、本日持ち帰る「いばらきキャリア・パスポート」をご覧ください、2学期の学校や家庭生活の様子、チャレンジしたことや継続して取り組んだこと等、お子様の学びや成長について、お子様と一緒に振り返る機会を設けていただきたいと思います。今回は、『高等部卒業後の進路選択』についてお伝えします。

○ 高等部卒業後の進路選択

中学部卒業で義務教育は終了です。その後の進路選択では、どのような形で社会参加をしていくかの将来像を描いていくことが大切になります。高等部卒業後の進路選択では、大きく分けて、①進学、②企業就労（一般就労とも言います）、③福祉的就労、④在宅 を選択していきます。



○ 就労福祉サービスについて

就労移行支援	・65歳未満で、一般企業等で働きたい人に対し、一定期間（2年間程度）働くために必要な技能を身に付ける訓練を行う。
自立訓練（生活訓練）	・自立した日常生活を送るために必要な訓練や生活等に関する相談・助言などの支援を行う。
就労継続支援 A 型（雇成型）	・65歳未満で、一般企業等での就労が不安あるいは難しい人に対し、働く場所を提供するとともに、知識や能力を高めるために必要な訓練を行う。 ・雇用契約あり。・工賃あり。・利用期間の定めなし。
就労継続支援 B 型（非雇成型）	・一般企業等での就労が不安あるいは難しい人に対して、生産活動の機会の提供や、働くために必要な知識や能力を高めるための訓練を行う。 ・雇用契約なし。・工賃あり。・利用期間の定めなし。・年齢制限なし。
生活介護	・常に介護を必要とする人に対して、障害者支援施設での入浴、排せつ、食事の介護などを行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供する。

参考：茨城県 障害者福祉のしおり（令和5年4月）

2学期の学習から

キャリア教育の視点

自分らしい生き方を(見つけて)

実現する(ために必要な意欲や態度を育てる)教育



🍏 中学部 りんご園での収穫作業

本校のりんごについて、受粉や摘果、収穫など1年を通して、ご指導いただいているりんご園で、りんごの収穫作業をお手伝いさせていただきました。「木になっているりんごを全部取る。」「かごがいっぱいになったら運ぶ。」「傷んだりんごと、きれいなりんごに分ける。」など、分かりやすい作業内容だったこともあり、生徒は見通しをもって黙々と作業をすることができました。また、りんごの収穫をする活動の中で、始めは1つ1つ指示を受けて取り組んでいましたが、「かごがいっぱいになったから持っていきます。」「高いところのりんごを取るから受け取ってね。」など、周りの状況を見ながら、仕事の効率を考えたり友達に協力を仰いだりする生徒の姿も見られました。

“ジュースになるりんごの収穫・選別”という、商品ができるまでの1つの工程を任せ、最後まで取り組んだことで、「人の役に立つ喜び」や「役割を全うした達成感」など様々な経験値が高められたことと思います。今後も学習の中で、子どもたちの個性に応じた学びを引き出し、一人一人の資質・能力を高めていきます。



★小学部の学習の様子については、次号で掲載します。